

平成27年2月13日

四国地方整備局

土佐国道事務所

## 国道に津波対策強化として津波表示板の設置を 本格的に開始します ～道路利用者の津波からの避難を促します～

国土交通省 土佐国道事務所では、南海トラフ地震による津波対策の一環として、高知県が平成24年12月に公表した南海トラフ地震による津波浸水想定区間について、国道に浸水想定区間を示す津波表示板の設置を本格的に開始します。

表示板には、主要な津波浸水区間の始まりと終わりに設置する「津波浸水区間起終点表示板」のほか、「海拔表示シート」や浸水想定区間の中に設置する「津波浸水表示シート」、「津波浸水表示板」があり、道路利用者に津波浸水想定区間であることを周知することで、地震発生の際には早期に避難を促すことを目的としています。

平成26年度は、高知市～安芸市の国道32、33、55、56号について整備に着手し、次年度以降も順次、土佐国道事務所管理区間内の国道について整備を進めます。

なお、津波表示板の本格設置は四国では初めてとなります。

※事業の概要等は、別紙1～2を参照。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.6防災力向上プロジェクト」の取組に関連します。

### 【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局  
土佐国道事務所

電話(代表)088-884-0359

◎副所長(管理)

みやたけ としお  
宮武 敏男

(内線)205

管理第二課長

よしかわ せいいち  
吉川 誠一

(内線)441

◎:主な問い合わせ先

## 平成26年度整備範囲



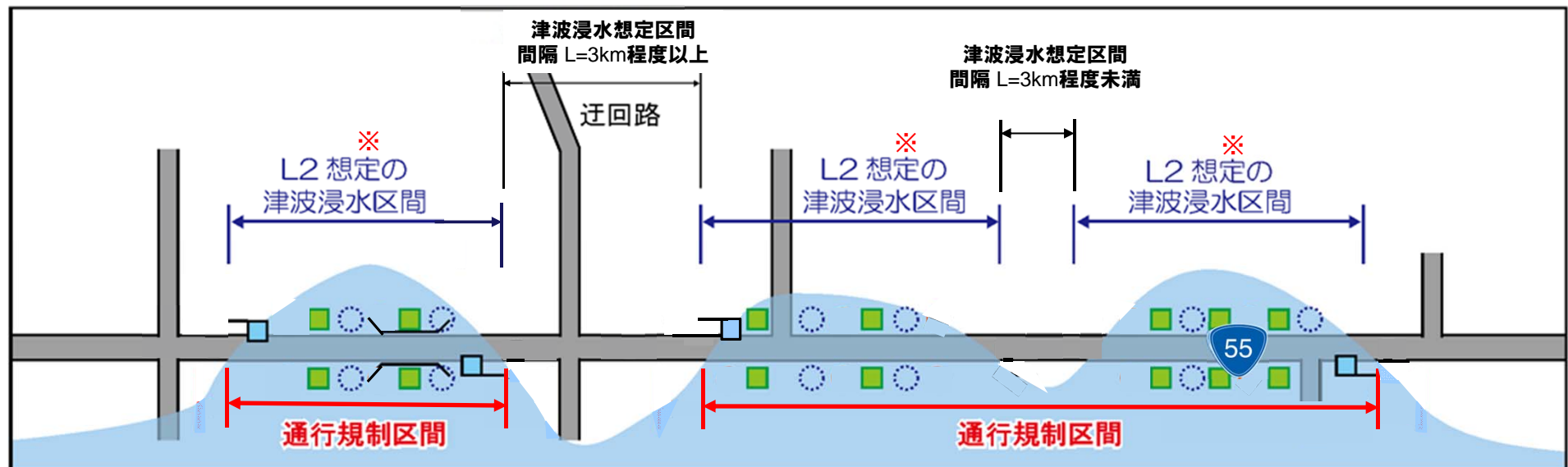
この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承諾を得て国際発行の承認地図50mメッシュ(標高)及び基礎地図情報を使用した

※ L2想定：その地点で想定される最大規模の津波による浸水想定である

- ：津波浸水区間起終点表示板
- ：海拔表示シート、津波浸水表示シート
- ：津波浸水表示板

詳細は次ページ参照

## 標識配置イメージ



この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承諾を得て国際発行の承認地図50mメッシュ(標高)及び基礎地図情報を使用した

## ■表示板標示内容等

**津波浸水区間起終点表示板**

(裏面) 津波浸水想定区間  
Estimated Tsunami Inundation Area

津波浸水想定区間の起終点に設置。  
津波浸水想定区間を明示し、道路利用者(車両・歩行者)の進入抑制が目的。  
また、平常時より浸水想定範囲を認識することで、避難行動の目安として活用。

**海拔表示シート、津波浸水表示シート**

津波浸水想定区間起終点表示板及び主要交差点の案内標識又は歩道橋柱等に設置。  
時速4kmの歩行速度で3~5分毎に確認出来る間隔(約200~300m間隔)を目安として設置する。  
海拔情報を提供し被害を軽減することが目的。

**津波浸水表示板**

津波浸水想定区間に津波シートを補完するために設置。  
津波浸水想定区間を明示し、道路利用者(車両・歩行者)の避難行動を促すことが目的。  
また、平常時より浸水想定範囲を認識することで、避難行動の目安として活用。

(津波浸水区間起点表示板拡大図)



約1.5m

約3.0m

(津波浸水区間終点表示板拡大図)



約1.5m

(津波浸水表示板拡大図)(海拔表示シート拡大図)  
(津波浸水表示シート拡大図)

約40cm



約20cm



約50cm

約30cm